



增補 文代

京羽二重大全

四上

特別
凡生
3775
7



凡全
3775
7

京羽二重大全卷四目錄

十境	八景	七瀨	五岳	三大橋	渡	崎	野	岡	名谷	名橋	名石	名井	名池	名山
						島	原	里						
						驛	尾	森	坂	名峯	名木	名泉	名滝	名川
十二景	十景	五三昧	京都七口	五關										

昭和二十六年
二月十三日

京羽二重大全卷之四

名山之部

愛宕山

島根郡境藏村上方
中三島居より坂踏

五十町山祖

一く岩石職として一帯

居の上小法の流あり十一町目小法流川

樹あり波程と云揚のこに愛宕を不

りり揚の何と云火燭持現まあり

まか坂と云鉄の表あり一帯居より

五十町めと目石居路百十八坂あり幸

殿にゆふ又守山ありてまをたまにバ

風小降く谷まはあさし池をば

拾子集八條又號若のまは名のま

雄のゆふまをまをまはあさし

高雄山

葛野郡中法村の上方
あり清涼の上流を築

ぬめがら山中に楓樹まき秋陽法のだ

楓の名所ありて林をみまると無所
名ありて山ハ八幡と垂垂の林ありて
和氣清麻呂伽藍と建ま一其後
弘法大師空教流傳ふはむはまの
伽藍ありて子院傍坊敷多法園猶亦
未集して受法あり穢と云々一の名
刹ありて小皇宇千まふ移り古儀
廢今坊舎僅たり中興文皇大
なり玉皇集○三雄山法庵川と香
宜て谷教ありてねのトと

相尾山

三雄山の東にありて雄
山と一山稱けり明惠

上人重光を種と宋少卿を
始と中不種と宋を佳名あり宋人
詩幸得梅山信初嘗日本茶と
云是を春兩抄○是をさうと云ぬ
る不はそと相尾山のまればあり
い後美風を傳ふはとあり

小倉山

葛野郡岩城二寺院の
と方あり山中不桐あり

定家等の山莊あり後撰集に常平
大井川うらうらふ乃無火ふふと
も名のそ始りたり

嵐山

葛野郡龜山大井川の
と青林木解名あり山

中桐多し龜山と名の極とあり中古
桐の名ありて新多我集後宇多院
ありしと云はるがやうはとん桐と
うけり流のまといや

亀山

葛野郡天龍寺にあり
あり我龜の甲ふ似たり

依りて布らふ小倉山と龜山一山あり
西の名ありて新多我集後宇多院
大井川と云ふはるは龜山のかつぬ
新多我集後ありん

松尾山

葛世郡大井川のぬ
山田村と云ふ山也

ね秋葉を養ふと風流を養ふの山之邊拾
ま集に順法院。なまけりもねの尾山乃
あつひ系桂と近く契りあらん

大内山

葛世郡仁和寺の山也
あり一名洲宮山といふ

集に本無院聖と。九平ふす山といふ
とくつふは内山のころりりりり

五智山

葛世郡福生村の山
あり一名五智山といふ

足山

葛世郡秋波村の山
あり一名七平土月柳山

陣駒古苑と云ふ山其坂と云ふ坂と云
ふ山と云ふ見作と云古記と云ふり

葦山

葛世郡法安寺の山
一と云ふ山に云ふ

葦のまじゆきと云ふ山と云ふ山と云ふ山

比叡山

葛世郡大系山の山也
あり延暦年中に修教

大師伽藍を此山に建立し今出川系
山より川系山松尾山の東山と云ふ

此山修教寺村より毎飯飯と云ふあり
難ふり又云ふ山と云ふ山と云ふ山

洲の里より六十町乃飯飯と云ふ山相輪
檀あり是より東と江州あり西と南

鞍馬山

鞍馬村の山也山甲樹
木無葉と云ふ山

堂毘沙門天下向ふ傍に合し如く貴
布移ゆた傍に合し名も未だ後撰

暗部山

葛世郡中津村の山
あり一名子布移山

云古今集紀中云梅う花白くま
きくさくぬ山をいこゆと云く
うあつと云

大悲山 老名那八井村山寺
谷村上方五山深く谷

あつとあり山寺あり老名定寺と云
其地之獅子老名老院と云名も二
あり其の似るも名もすり

岩倉山 二つあり一は老名倉村又一
東老名老名性院の次

其一切経谷有南禅寺の東代山と云
と古記より入り老名集平法華
老名八田中の村代山なり其山
もわつとあり老名又云法の四方老
名あり法中徳遺のふも一切経
四方のふも代山名あり其の老
名ハ乙訓郡坂幸村と方亦有と古記
小名より南老名ハ法中園より

賀茂山 老名那と老名那の東
一名分土山又老名山と云

後老名院街集賀茂山の極東の
其風も老名し川の氷とくく

御蔭山 老名那と老名那の東
あり一は日新山又老名山

山又老名山と云夫木集申老名院光
野のふも御蔭乃山の老名も老名

其のふも老名山と云夫木集申老名院光
野のふも御蔭乃山の老名も老名

礼生山 老名那と老名那の東
と方老名中抄と云

山と老名軍地老名あり

江文山 老名那と老名那の東
あり一は穴三あり口壺
雨壺風壺より小石壺のふも村
多風行り老名換あり

華頂山 老名那と老名那の東
蓮院の上方あり老名

標高らんせんせとせむ賞さるふたり
山中耕雲庵の址あり お墨屋大谷寺

靈山 養老郡八坂町の東小
あり寺公正法寺といふ

秋中山 このあたりに 山の手あり後日本紀明月記木とてこり
養老郡法水寺の南に
有る地は法園寺といふ

中山 養老郡新正谷志加堂
岩の地とて中々といふ

鳥部山 本集云もこ氏秋ゆつこの中いれ
小社ハ一々なるあり 東に如老いといふ
社名園あり其中アアなるいふて名を以

鳥部山 養老郡蓮原宮院の東
あり拾年といふ

稻荷山 いかり 多岐山谷は畑作地とてなるなり
なり一社とてあり

稲荷山 紀伊郡三橋七八丁草
あり武平殿といふ

竹葉山 稲荷神社東角あり谷と
竹の下に云古稲葉の号

深草山 丹と行く大仏豊國の寺を通るなり
なり續古今集云陸海を竹のそふ

伏見山 深草村の東ありむき草
小僧秋深草のふれ記云

伏見山 又伏水地ありその東に有
ふの山にむき草と云ふ

伏見山 養老郡八坂町の東に
あり八幡山といふなり

古名之中志記は加祥元年十二月南
 都(新)と云ふ九条の南邊(新)より
 伏見の北坂を越るはと云ふり今令の
 ありと云ふり山科又出づるは又録(新)中
 以用(新)なる新拾(新)集(新)又(新)山
 門田の(新)書(新)又(新)松(新)又(新)鴨(新)の(新)山
秋山 紀伊郡中尾村小坂の橋
 北南友(新)の(新)山(新)を(新)ち(新)り
 元白川院(新)茶(新)の(新)假(新)今(新)新(新)院
 田畑(新)と(新)云(新)ふ(新)も(新)新(新)院(新)五(新)首(新)の(新)新(新)令(新)
 天(新)代(新)の(新)光(新)と(新)法(新)と(新)未(新)と(新)一(新)ふ(新)と(新)セ(新)乃
 妹(新)山(新)の(新)橋(新)乃(新)月
栗田山 宇治郡日吉村(新)あり
 山(新)と(新)云(新)ふ(新)鴨(新)長(新)明(新)新(新)小(新)か(新)え(新)り
 こん(新)新(新)院(新)ら(新)れ(新)る(新)を(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃
 相(新)山(新)乃(新)又(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ
 と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)

美山

美山村の西ありま本集
 民(新)や(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ
 の(新)あり(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)

鏡山

脚(新)院(新)村(新)の(新)西(新)に(新)あり(新)ま(新)本(新)集(新)
 あり(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)

諸羽山

四(新)文(新)村(新)の(新)北(新)に(新)あり(新)今(新)の(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)
 山(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)

音羽山

音(新)羽(新)村(新)の(新)東(新)に(新)あり(新)今(新)の(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)
 界(新)に(新)あり(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)
 西(新)國(新)と(新)目(新)の(新)下(新)に(新)あり(新)山(新)中(新)小(新)牛(新)尾(新)あり(新)
 中(新)小(新)吉(新)羽(新)の(新)滝(新)と(新)云(新)ふ(新)又(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)
 く(新)ち(新)り(新)古(新)今(新)集(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)
 山(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)と(新)云(新)ふ(新)新(新)院(新)坂(新)乃(新)

三之取山

三之取村の山ありて名
がたごの山又日登の嶽と
云ふふやうに樹木繁茂とて古
より名ありたる遠くは科のま
とやつろくするらん

炭山

炭山村の山を邦名
集源原と云ふなり
と云ふも地味を産するなり
ありて古の産物なりと云ふ

三室戸山

三室村の山あり
一名明星山并枕名
ありて古の産物なりと云ふ

雄徳山

雄徳郡八幡庄と云
ありて一名雄徳の山あり
香炉山又八幡山と云ふ作と
云ふ其南傍と云ふなり西の
て放生川を種と云ふ幽傍

の地より月清をあ集るん
の嶽吹の川波ゆる波乃あま
天王山 燈臺郡天王村あり
と和名ありて男山と云ふ

甘南佐山

甘南佐村の西南あり
と中水晶る瓜生は
は内と男と云ふ

箕山

日那内里村の西あり
後寺村院の山と云ふ
局はあまの山と云ふ此の
乃女と云ふ

井出山

日那井出村の東あり
と下に清くありて
と云ふはあまの山と云ふ

市色山

日那市色村の東あり
ありて清くありて
と云ふはあまの山と云ふ

推尾山

布衣の末代あり
聖徳の滝あり 孫娘

おきり式あり

山崎山

乙訓郡、藤村乃と方
ありと、社あり

維新の戦いあり 天王の御宇あり

柳巖山

日部津谷村と、合
柳名あり 寺あり

木山

日部奥海五村あり
樹木繁くあり

小畑山

日部小畑村より大畑
て山の西あり

足利家の別名あり 風景奇矯なり
光徳の集りあり 妙法寺あり

大石山

能登や他、乙訓郡
を村のよ方あり

小畑村あり 大石寺あり 丹波の界

なり 妙法寺あり 良田大石の
乃 妙法寺あり 妙法寺あり
と、妙法寺あり 妙法寺あり

出灰山

出灰村のよ方あり
灰と、妙法寺あり

栗隈山

一名栗隈と久世
山あり

南にあり 妙法寺あり 妙法寺あり

一羽眼下あり 妙法寺あり 妙法寺あり

高尾山

久世郡と、妙法寺あり
妙法寺あり

綱倉山

久世郡と、妙法寺あり
妙法寺あり

久世郡

久世郡と、妙法寺あり
妙法寺あり

乾鳥山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

岡田山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

七十九月本工寮勅
た下して高野のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

芝置山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

七十九月本工寮勅
た下して高野のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

た下して高野のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

して風景殊に奇蹟乃地

一重山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

松山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

して風景殊に奇蹟乃地

相樂山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

鹿背山

相樂郡高野村のこ
あり頂とてて所の
ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

ありと云眼ふる高野の樹木整齊
して風景殊に奇蹟乃地

して風景殊に奇蹟乃地

布音山

丹平尾村のふかき青
百葉集、布音山

並見といふ代もかろるるぬくぬく
まのぬ

高麗山

と物村の東を五万葉
集、布音山ぬくぬく

多名川流をききこぬはなよりん

名川

名岩郡に部

賀茂川

此のぬ流るる源はき
布音より流るる在ぬ

賀茂村のふか流るる下鴨の南
よてふ賀茂川とよふ流るる次牙
流るる系橋の下へゆき九条の東
南は竹田村のやとて下を好の南
中根橋の下を流るる横太路の西
て桂川よ合を賀茂川一名鴨川
又瀬見ふ川又東川又石川とふ

後撰集、賀茂川乃のぬをこすぬ
思ふ月とゆてふんぬ夏月とふ

貴布禰川

此の源はききこぬ
玉の滝より二瀬村に

中村市系村まを流るる西賀茂村
いりて賀茂川よ入るる

鞍馬川

水源は百井村まゆ
くは後村まよて二瀬

村小ぬききこぬ川よ入るる

中津川

水源はききこぬ細山申より
中津川村と流るる市

系村の南まゆききこぬ川よ入るる

三井川

此の源はききこぬ
三井の源まよて二瀬

ゆりて二瀬川とよ又垣川ともいふ流
るる中津村と流るる三井川と合ぬ
乃南と流るる三井川と流るる三井川
本後紀とよふ七瀬のそよ拾遺

折こふこころりも雲に流しゆくを空を
川と云ふ

音羽川

水原のひまひふさき母坂
音羽流より竹野子流
村の西とめがうて流るこす此所に入る

白川

水原のひまひふさき母坂
より出く白川村にあり
今川と云ふ崖谷のぬか経く、常田に
つりて白川橋と和橋ぬか経くが
後川に入る古帖よまのより流る白
川と云ふ経くもかきらつちひまひふさき母坂

高津川

水原二条にありかも
川の水を引く又雲に
南にあり九条の紀伊郡に入るなり

高津郡

大堰川

水原丹波系国勢に平
より流るこす雲の

乃川と云ふ川を流るこす雲の
乃川と云ふ川を流るこす雲の
角倉了之と云ふ二流と云ふ川は
新木のふせと云ふと流るこす田梅院
桂と云ふ川を流るこす川を流るこす鴨
と云ふと大堰川一名無敵川又西川
又高津川又かつ川後拾遺に流るこす
大堰川古に云ふ川を流るこす川を流るこす
乃川のぬか経くもかきらつちひまひふさき母坂
大中流之長大舟川と云ふ川を流るこす
つりて音羽流のつりて音羽流のつりて音羽流
より出く音羽流のつりて音羽流のつりて音羽流
東西川と云ふ川を流るこす川を流るこす
清流川 水原のひまひふさき母坂の
南にあり音羽流のつりて音羽流のつりて音羽流
水原のひまひふさき母坂のつりて音羽流のつりて音羽流
入る新橋と云ふ川を流るこす川を流るこす
水原のひまひふさき母坂のつりて音羽流のつりて音羽流

水原のひまひふさき母坂

川と名ふと成生

水尾川

水源之水尾村の中より南に流る

大井川に合ふなり

鳴滝川

一石河之川に源あり梅ヶ畑若狭寺より

平谷と流る川橋音村に南に流る

紙玉川

水源を宮部紙玉川の南より流る川

橋音に南に流るて河を玉川と合一名西流川又智川又若狭見川に云

有栖川

生田村より流る川大井川に合ふ

芥川

桑名に流る南流る大井川に合ふ芥川に云

宇治川

水源を宇治の南に流る川に云

宇治川

水源は京都より流る川に云

那と紀伊那の界より流る川に云
流る川に云
と云本津川并一里村の古水尾に云
と云川に云

本津川

水源は京都より流る川に云

と流る川に云
合して流る川に云
本津村より流る川に云
此川に流る川に云
改めし川に云
本津村相系村祝屋村平尾村等
田村と流る川に云
此川に流る川に云
此川に流る川に云
川に云

あつて又大里小川と云流大橋の下
と流る後川よ入る古歌云

定川 水原の定川本は加茂
うらふのあは後お集
り流る橋別所はの田やとらるるて
まきとら流るる

玉川 水原相承有る谷
より流る井の水
村はとてあらの邑はいつりてあは
川入る又あま所と云古歌云城の
井よれ流るに所あして水登川よ
流るるん五社百首ふ物とあ
程あ知ん山原のくまは流るる井
よれの玉川 水原相承有る

中川 水原相承有る谷
より流る井の水
水原の森と森のやと流成らるる
あり是は中川の河をよと云けり

井河のあり
又水原の森と森のやと流成らるる
あり是は中川の河をよと云けり
古歌云とら後拾を集るは流る
流るるふれのくまは流るる井
よれの玉川

有栖川 水原相承有る谷
より流る井の水
水原の森と森のやと流成らるる
あり是は中川の河をよと云けり

大宮川 水原相承有る谷
より流る井の水
水原の森と森のやと流成らるる
あり是は中川の河をよと云けり

堀川 水原相承有る谷
より流る井の水
水原の森と森のやと流成らるる
あり是は中川の河をよと云けり

水原相承有る谷
より流る井の水
水原の森と森のやと流成らるる
あり是は中川の河をよと云けり

村の在りたる所を大徳寺とせしむるに
 て二保川と云ふは此の所の名也後
 々小川と云ふはこれより後舟に
 て本園寺、東の門より西へ入
 のと云ふは流るる西中流寺の
 条の南、北より中流寺、乃ち
 此の所の名也紙魚川と云ふは
 根好の所より此の所にきて
 其の代より此の所にきて此の
 西洞院川 二条より流るる九条の
 南へ流るる所也此の所に
 乃橋をこえて紙魚川に入ら

名池之部

泥濘池

又所至吾流池と云ふ
 乃名池村とあり周
 十八町余あり和泉寺
 名公さうん教がふとん

廣法池

池浦村のにおあり
 遍照寺池在云云西
 三丁南小一丁をりけ池
 新羅之拾芥抄に唐尺
 輝とて下のは新羅古
 と書すあり性靈の中
 中あり是より東の池
 新羅の池乃かいたる
 遍照寺の小堂あり
 生記に六百あり合
 月とむ秋まると唐
 りむとありたり

大江池

大徳寺の東にあり
 樹ありありありあり
 中央のありありあり
 名ありありありあり
 うありありありあり

と家集に之元寺の舎を造らて
るつてなんくく 産れたるあつる
人もあつてまうかあつてな
かう種が又まふまふの舎を
友別ひのりやうとてのり
の池は産も産あつてな
後成一大派の池乃そつた
とまうかあつてな

鏡池

法安寺あり此の二
池二派たふ水舎多来

ておぼとく唐派の池まう
池まう 鏡池の池

昔置浦倉池

大まの池つとま
久和寺中古田老

田の池つとま
とつとま

常持池

明徳村の池あり今
つとま

ひつて池ふまうかあつてな
まうかあつてな
はまありと

鏡池

と安茂村あり水
とつとま

船治池

栗田天王の社の傍
あり池つとま

田の池つとま
池つとま

大池

紀伊郡あり元徳の
は田つとま

入る小倉村あり巨椋の池乃
とつとま

ゆり池や沢田の池つとま
池つとま

杉新池

宇治郡新修寺村の
池あり

勢野池

勢野池 勢野村の西
南にあり 盛徳記に新
勢野池と云 俗に地蔵池と云 今に
新勢野と云ふなり

水母池

水母池 日野村の南にあり
俗に水母池と云ふなり
日野内里村にあり 勢野
の社にあり 俗に水母池
相承記

荒神池

荒神池 日野村にあり
日野有市村にあり 旱
の時に村にけり

三吉池

三吉池 三吉池の池にあり
西にあり びりききし
新勢野の地にて 乾臨園あり 今に
中江池と云ふなり 今に
名に勢野と云ふなり 勢野

神泉池

神泉池 勢野村の西にあり
今に神泉池と云ふなり
今に神泉池と云ふなり
今に神泉池と云ふなり

御池

御池 押巻池の西にあり
古に御池の南にあり
今に御池と云ふなり
今に御池と云ふなり

名滝部

青羽池

青羽池 日野村の南にあり
今に青羽池と云ふなり
今に青羽池と云ふなり
今に青羽池と云ふなり

清水池

清水池 日野村の南にあり
今に清水池と云ふなり
今に清水池と云ふなり
今に清水池と云ふなり

石池

石池 日野村の南にあり
今に石池と云ふなり
今に石池と云ふなり
今に石池と云ふなり

三重滝

あり拍修正しきてはなとあり
日影寺ふお親孝のふ
若王寺のふとあり

樓門滝

日影寺を合村のふ
如きと嶽とさじう

音取所

二母寺の西門あり
日影寺敷山の西境を
古今今集あり

音滝

日影寺追院村あり
いふふふふふふふふふふふ

龍王滝

日影寺布衣のふあり
早のふのけふふふ

久多滝

日影寺久多のふあり
日影寺白二つあり

夜滝

日影寺夜村のふあり
日影寺夜村のふあり

岩屋滝

日影寺岩屋のふあり
日影寺岩屋のふあり

字標滝

日影寺字標のふあり
日影寺字標のふあり

縮尾滝

日影寺縮尾のふあり
日影寺縮尾のふあり

滝

日影寺滝のふあり
日影寺滝のふあり

滝

日影寺滝のふあり
日影寺滝のふあり

滝

日影寺滝のふあり
日影寺滝のふあり

滝

日影寺滝のふあり
日影寺滝のふあり

滝

日影寺滝のふあり
日影寺滝のふあり

滝

日影寺滝のふあり
日影寺滝のふあり

七日のわろくしあしきとらん
今ハ流あしき細流とあり下ハ流
とそ号よりあハ流とそく大和とあそ
るこくかき川に入らり

唐櫃滝

徳吉郡高志郡乃
あお推ノ尾のあり

神中抄推ノ尾と云五成巻推ノ尾
とそりあハ流和奇式よそり

不動滝

日取ノ痛山下院寂
社まの西の方とそ

十町作とそ惣怪然まれ人ハ流ま
おとめんハ年魚とそ長ノ流あり

滝のと武丁とそり小尾初堂あり
傍くまわらせり

竜王滝

日取まが村天主社
の奥まの流のころとそ

大ざり社乃あはれざりて所ハ濯川
とそまハ本は川とそる風系の地と

鷲滝

相手郡西村まの流の
傍ノ寺あり号流と

とそ流小とそり寺号とそり
とそ

鬼滝

日取と有市村まあり
とそとそ文余と流と

秋川とそ下ハ本は川とそ

老滝

日取まが村あり
とそとそ文

童子滝

日取まが
と中まあり

風系奇務あり也と

明神滝

日取大阿奈村の東
あり滝のま井百又十

又余とそ不祖とそとそ屋のびとそ
とそ雄とそとそとそ唯とそとそ

風系とそ怪とそやとそびとそ

名井と部

明星井

本山吉田の赤松の下
ありて神主を

此井はあり古記に云く此井は
大伴小園持の法成修す所
明星井小主人傳りありて
其の虚空を花茶へ初福後あり

菊井

祇園下河原あり
法成ありて味其く

本山吉田あり水極けありて
周く名く此井生く此井生く

柳井

和州流三系下河
あり古き織田

此の泉ありて井の水介あり
と云れり井の湯は極と極と云れ
ばありてあり

清和井

本山吉田坊林院あり
催馬柴よりありてあり

此井乃水とありてあり

ともありてあり

櫻井

和州流三系あり

醒井

和州流三系あり

此井はありてあり

此井はありてあり

小右衛門再興あり

亀井

本園寺の界内あり

手水井

鳥丸四系坊下あり

祇園今六月七日井の水あり

十四日ありてあり

少将井

竹屋河の南五柳屋
西より元小形文の

笋趾より古記に長和三年正月二
日南殿御山のろ水が涌出しく浄土
坂の外に水は清涼なりと云く百練
抄に少将井神社祇園別宮や云
邦の和奇抄にひく尾をくけあ小
と云く因く少将井乃たと云くわや
と云くともむう後拾遺集と云く

小井

三条の南中流の
と百練抄と云く

梅雨井

竹屋河下を云く河と云
左側より云く

泉の南中流の付有吉と云く泉の水く
り小平生井の源と一丈余梅雨の入
り井管れと云くにて外へ流す水の
と云く出ると云く夫の正しく云くと云く
の河の右側を云く河と云く

櫻井

一条の北二町又過の南
櫻井乃過ぎ少あり

井を云く櫻井の云あり櫻井基依の
泉依なり

縣井

一条の北五柳院の西を
古記と云く今考

見よふ女洲出洲の西へ入

少将井

法華林河彼淨
寺より傳云け地を

往者四位少将の宅地と云く又其源
草の云くと云くおと云く

宏井

依見所香と云くあり
と古記の云く

味井く二痛老け水と云く和れつと云く
なる百今焼水と云くふ百と云く

正原井

法華寺と云く

小所井

定後郷小所村にあり
信傳の森古所の宝地

百石井

定後郷百石村にあり

山田井

飯島村にあり
又山田村にあり

弘法井

奥加村にあり
弘法大師の井

桑井

乙訓郡桑井村にあり
清水をくみ出す

泉殿井

乙訓郡泉殿村にあり
泉殿の井

白井

乙訓郡白井村にあり
清水をくみ出す

石井

定後郷石井村にあり

山田井

山田村にあり
山田の井

桐井

光仁の宅址と云ふ
桐の井

滋養井

下之郷大川の池にあり
滋養の井

赤泉井

鳥丸中三賣にあり
赤い水の井

死者井

死者の魂を祀る
死者の井

常盤井

依見河原の常盤
常盤の井

常盤河をいへり作て汲くと常盤
双紙よ見せたり 少ね内侍のき
やうて紙をもちて福を常盤舟の
あふちやわら月ま〜ぬとも

名泉と部

勝清水

毛名郡多生村にあり
後拾遺集に選法所

行行ても月もさうまんとく〜戸
掛乃信ありすむ名〜りふ

石清水

雄勝ふ八岐入の里
まふり涌物〜あり

香水と伝人〜れとほ〜ぬる法病
と除〜〜と〜

乳清水

下野成中社の傳〜を
毎年六月すより昔

まどけあ〜は〜法水〜せ〜らぬれ
いふやせ〜せ〜と〜

吉水

龜山安土寺にあり
慈徳和尚修す古

修すりあふ吉水のわら〜も云

泉涌水

泉涌寺の雲の傳〜
まけぬふ〜山〜寺

肉桂水

三尾新阿人の丸の月
あ〜り〜る〜あ〜

芥根水

堀川下生功を傳〜の
南〜あり中古書〜

鳥石

鳥石まる辰井名と八石面は八き子
〜〜芥根水〜す〜

清和

一乗橋川の東比諾候
魚を食のたふありそ

清和

とやせし何双紙洗の水と云傳ふ小
阿の語あり

清和

日向あり安陸法郎
あ〜法と〜時〜あ〜

清和

水尻の湯あり新井の湯あり
酒の湯あり

清水 西尾村の南にあり
池田の湯あり

社と云早稲の湯あり
暖かい湯あり

岩の湯あり
お湯の湯あり

向の湯あり
乙洲の湯あり

大足湯あり
あり長井の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

新井の湯あり
湯の湯あり

一村の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

神人泉 相模の湯あり
湯の湯あり

清水 湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

甘湯水 湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

湯の湯あり
湯の湯あり

法華水

久世知らぬ平賀院
うま水唐く味其し

観音水

口那寺田村ふ何り
あ庭くそ早かきん

玉水

後長那玉水の色や
あり新古今集

玉の井の井しも云
玉の井の井しも云

金水

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

足水

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

名水

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

名水

牛石

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

て名水いりしりくはる孤切んとて

擊瓜ささふ忽空流八曲のぼろく
かそきく止ぬらふ其根あり

乳生ふ

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

乃の中央ふあける院まきく山山の
後傍の夜ふむくはるのり一夜

所生生し其つるる面よりびらう
又る人青魚うらうらう後る代

化遊ふ

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

と化遊寺しそ後より出涌あり周々
今の名をいふはむし一人のたふ

蜻蛉石

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

石

室所歌柳系西人系
室所歌柳系西人系

もサハ人糸幅一人二守事す斗
石面よりめき痛観音の像と彫

竹をこれ買入ると田村の...
はの敷やうげうのふりまきとふ
いけあふたよとて...

鴨長明方丈石
日野村の...
外ふの山後

ありも廿二丈あり
る床三つる四面
名氏千人る...

百丈石
和東に中村大智
ありも廿三丈

楕幅二十丈
塙との平十間あり
傳よりあるたあり大智傳所二月日

布引石
日野あり岩面ふじ
て布と引...

文殊石
口ありる面分て文殊
大所ありれりや...

大磐石
口ありるくく大磐石
ゆるたあ...

惣石
あふ清用寺の石不
ありけるるりあ

佛足石
法あり地を柱現の傳
あり

観音石
も舟川あり後乃
たの石あり

任石
日測のとたあり
惣けを...

乳石
法後村大智とあ通る
つありる廿六丁あり

護法石
大京東遠院村極楽
後のもあり生垣あり

角ありて白皇慶阿闍梨持戒
他の徳工周く勿然と一人の事
子ありては後給仕と護法石

ふく号は自王そのの威後行て
ふく号は自王そのの威後行て

獅子ふふ
大京橋林屋の巽四
町津道に沈の臺れ

あふりうは昔うらあくら人南後う
むあくら文珠の秘法と修せし時

はふ獅子ふふ行ておくらあがて
おくらあがておくらあがて

後盤ふ
日暮生村のふふあり
夕船直直の舟し

婦まふ
西がふ底川と村の良
二子塚の東鴨川を

鏡ふ
昔おお大少山村紙を
川のとふふありふ面

水泉のくくまう
て名くまう古今物名集
くくまうくくまう

鏡の鏡くくまう
くくまうくくまう

不動ふ
鏡ふふあり一町ふり
ふふふふあり

牛脚ふ
おくらを玉淨修の
ふふふありふの牛

乃脚ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

舟禪ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

乃脚ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

世にふ
世にふふあり一町ふり
世にふふあり

顔書ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

乃脚ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

乃脚ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

乃脚ふ
乃脚ふふあり一町ふり
乃脚ふふあり

是は現くは大陸の快記云其以
帝勅をく金剛寺の教とて
海和尚の寺にむして勅使とて
多し其言は日蓮とて法華川の
傍くも維く此未と維く勅使
川の言は日蓮とて勅使とて
多し其言は日蓮とて法華川の
傍くも維く此未と維く勅使
川の言は日蓮とて勅使とて
多し其言は日蓮とて法華川の
傍くも維く此未と維く勅使

額立石

日蓮門の寺に一所あり
此の傍にあり
梅尾の善自社にあり
石面は日蓮の行とて

佛足石

石の形は人の形あり
日蓮寺の堂後
白石ありとて教
み案の傍よりありとて

白石

白石ありとて教
み案の傍よりありとて

冠石

石の形は冠の形あり
ありとて冠石あり
周く名は人形とて惟高親王の名
けり

足酒石

石の形は酒の形あり
の社にあり
海中の石は修むとて
此一石の形とて

磐石

石の形は磐の形あり
修むとて
八社にあり
石の形は磐の形あり

夜戸石

石の形は夜戸の形あり
ありとて
石の形は夜戸の形あり

國史島の浦に有く志乃浮洲と
秀吉公之と衆議の城よりつる
之後又けあふ移る

虎石 浮草宝塔寺方丈
の庭ふあり其まら

虎にやうりけふ始親香上人流馬
の地ふありそふ系万里を流押あ
れ南に其所必虎石町と云今に
あり秀吉公を依身城とて久し
時けら流馬内又移る然して彼
地多改の後ふら流馬地まらと
あつて南のまら流馬

龜石 宇治新流亭の行
あり石龜の

名木三郡

西の橋 乙訓郡大原村務
持寺のあふありむ修

西の法師の樹あり周く流の寺
云又あふ双林寺西の庵の傍に

紫雲松 及流粟生光明寺に
あり根年一甲あり

末三甲あり法師上人滅後十七年
安貞二年正月廿五日ありてと人の
遺骸と茶毘くう付けたる

新向櫻 澁谷郡田島山後
西の回廊の外あり

楠 東の回廊の外あり楠判官正
成杉のち枚株栽し今
一甲のまらり希代のまらり

深櫻 経行流浮草深
あり寺号ふら

浮州や流まらこのまらしんあ
ら

其盤梅

竹田の里安楽寺の境内に
有上皇の御宇に於て
其盤梅と名づけられたる梅あり
其樹のふたつありて其樹のふたつありて

三拈松

東寺浄教寺の境内に
有種梅の傍にあり
笠松とけは有弘法大師大僧青龍
寺より拈てく日本に我任に
ありて拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり

求圓持木

同寺門室殿院の境内に
ありて其木を拈てくといふなり
今其木を拈てくといふなり
今其木を拈てくといふなり
今其木を拈てくといふなり

御方松

四系緒慈角人家の
境内にありて其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり

住吉松

同寺境内にあり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり
今其松を拈てくといふなり

飛梅

高辻西洞院菅大匠
の境内にあり
今其梅を拈てくといふなり
今其梅を拈てくといふなり
今其梅を拈てくといふなり

寫宿梅

同寺境内の南
にありて其梅を拈てくといふなり
今其梅を拈てくといふなり
今其梅を拈てくといふなり

赤用紅

同寺境内の境内に
ありて其紅を拈てくといふなり
今其紅を拈てくといふなり
今其紅を拈てくといふなり

新向榎

同寺境内の境内に
ありて其榎を拈てくといふなり
今其榎を拈てくといふなり
今其榎を拈てくといふなり

新向本と号す

新向松

師嘉新町の西に松
神明の内あり

松の内裡のまろ樹林に跡あり
年二月八日活弁大火のまら焼た

新向松

お世經王堂のあり
初宮のあり

け松新向ありして河原と傳ふ松
梅院ありて松と云ふは
況こけ松と云ふは

お世の社内

お世の社内
傍にあり

四流松

活白松等法堂あり
お世の松あり

七本竹

活白松等法堂あり
お世の松あり

十本の七本と云ふは

軒松

暖蔵二層院の内あり
まら松あり

まら松ありて松と云ふは
お世の松あり

新向松

お世の社内
傍にあり

新向松

お世の社内
傍にあり

有と云ふは

新向松

お世の社内
傍にあり

新向松

新向松

新向松

雲珠梅

くろは寺あり
夫木集、定頼

ちよこのことん園時、藤梅

くろは寺あり

春の府君

春の府君の南の板
車御寺あり

九重楓

清の南の仲の法
雲寺あり

あまのふみし、別山、御制

くろは寺あり

馬懸松

中治平の院のつち
あり

河と後村政府のせし、七月、
時、自ら、松懸、くると云、
松はあり、あり、は、松、木、ま、く

名橋三部

